

**健康・生きがい就労関連
就労開発・支援事業****(担当：遠座)****健康・生きがい就労（以後 KIS 事業と略）及び
自治体関連の進捗****■自治体 KIS 事業****◎熊取町****8月6日 熊取町役場を訪問し介護保険課に KIS 事業について説明**

熊取町介護保険課長らが7月22日の岸和田市 KIS 事業施設向け説明会に見学に来られていましたが、大阪府経由で事業の説明を聞きたいとの話があり、府の担当者と一緒に町役場を訪問しました。

熊取町介護保険課からは、府の事業終了後に町から NPO に直接委託をする際の費用など、実施を前提とした質問がありました。熊取町が KIS 事業を導入されると泉州地域で2つ目の自治体になります。

◎茨木市**8月6日茨木市役所を訪問し地域福祉課に KIS 事業について説明**

茨木市には2023年7月に地域包括第1層協議体（地域住民・企業が自ら責任を持って地域づくりに取り組むための組織）総会で KIS 事業の意義などについて講演を行いました。KIS 事業を担当する部署や他の似たような施策との調整などが手間取ったということで、今回地域福祉課の担当者も交代したことを機に試験的に取り組みたいとの話でした。打合せの結果、事業者向け説明会は12月に、市民向け参加者募集説明会を2月に実施することになりました。

◎枚方市**8月12日 市民向け説明会で講演**

枚方市立総合福祉会館（ラポールひらかた）で開催された今年2回目の市民向け説明会において、働くことの健康効果について講演を行いました。参加市民は前回に比べ半分近くに減少していましたが、これは前回の電話申込みが市役所に電話で申し込む方法だと殺到する電話対応で大変なので、今回は市のホームページを開けて専用フォームから申し込む方法に変更したことによるものと市から説明がありました。介護施設を運営する5事業者から計17名の求人があり、参加市民19名中16名のシニアが個別説明会にも参加されました。

**◎川西市****8月25日 市民向け説明会で講演**

令和7年度川西市 KIS 事業市民向け説明会が川西市役所7F大会議室で開催され、働くことでの健康効果などについてお話しをしました。

1保育園含む4事業者から14人の求人があり、全体説明会後の事業者個別説明会に13人の高齢市民が参加されました。講演内容を聴き説明会を見るため、日立製作所公共システム事業部（東京本社）、ソフトバンク CSR 部門（東京本社）から見学者が来られていました。

■その他**◎万博関連**

ガスパビリオンで活動する高齢者のバイタルデータ等を計測し高齢者の転倒等労災予防の研究を行う大阪大学等とのプロジェクトの第2期（10月12日までの60日間）を8月14日開始しました。また、このプロジェクトのマスコミ向け取材会が開催され、8月14日に共同通信社、読売新聞社、ガスエネルギー新聞社、18日には毎日放送（TV）、23日に産経新聞社から取材されました。各日とも活動しているシニアの方々はインタビューを受け、写真を撮影されていました。



毎日放送4ちゃんTV
「生きがい就労」でとり
あげられました

◎その他

㈱日立製作所公共システム事業部は同社のIT技術を活用し行政向けにエビデンスに基づいた施策づくりの支援サービスを行っています。同社から、KIS 事業が高齢者の介護予防・健康づくりに最も有効な施策と思われるので一緒に効果検証を行い全国に広めていくことを検討したいと申し出があり、8月28日に日立メンバーと大阪大学大学院老年総合内科学山本教授、大阪府福祉部介護支援課をそれぞれ訪問し、意見交換を行いました。

9月の予定

- 2日 安田女子大学心理学部ビジネス心理学科田淵 恵准教授との意見交換（高齢者と子どもの交流による高齢者のジェネラビリティと子どものEQ発達研究）
- 18日 東京都健康長寿医療センター研究所松永研究員対応（世代間交流実施団体：NPO ラボへのヒアリング）など

啓発・研修事業分野

(担当：山口・山本・大林)

2025年9月のスマホ講座予定

講座名	場所	開催日	時間	内容
はじめてのスマホ講座 Androidコース	フレミラ宝塚	9月4日	10:30-12:00	グループLINEと復習クイズ
			13:30-15:00	相談会
		9月11日	10:30-12:00	検索ざんまい！
			10:30-12:00	Googleマップ①
スマホ相談会 (3回目)	川西緑台 第2自治会館	9月18日	10:30-12:00	相談会
			13:30-15:00	相談会
スマホ相談会 (3回目)	川西緑台 第2自治会館	9月11日	14:00-16:00	緑台地区で申し込まれた方に実施

【フレミラ宝塚】

初めてのスマホ Android コース

8月はフレミラいきいき学舎は夏休み、スマホ講座もお休みでした。

休講の間にもスマホ操作を忘れないよう、夏休みの宿題としてグループLINEを活用。

「夕食の写真」「空の写真」「近くのコンビニ」「出身地の名所名物」等を全員のグループLINEに送ってもらいました。皆さんの力作が次々に投稿され、リアクションを付け合せて楽しむと同時に操作の復習になったと思います。

新学期の授業でも、楽しく学べるような工夫を重ねて行きたいと思います。

《8/7》遠足下見

11/20の遠足予定先の池田市「カップヌードルミュージアム」に下見に行ってきた。

夏休みなので家族連れで賑わう中、オリジナルのカップヌードル作りを体験しました。

容器のお絵描きを楽しむカップヌードル作りより、麺の手打ちから始めるチキンラーメン作りの方がより楽しんでもらえるかと、遠足ではチキンラーメン作りの体験をしていただくことにしました。シニアにもとても楽しいので、皆さんに喜んでいただけるのではないかと思います。

【川西多田地区】

《8/28》スマホ相談会3回目 相談員：大林（茂）・山口・山本

第3回の相談会には7～8名が参加されました。

寄せられた相談やこちらから提案して教えた内容は下記の通りです。

「検索（音声検索）の仕方・文字入力の仕方（キーボード・音声）・Googleレンズ、Android 3ボタンの説明と操作・アイコンの整理・ウィジェット表示、写真の撮り方・見方・調整方法・LINE操作のあれこれ、川西市行政アプリの操作方法・機種変更後の支払いアプリの操作」

基本操作・カメラ写真・LINEの3つはラボの初心者講座3回セットの内容であり、その3つをマスターすれば、スマホの便利さ楽しさを大いに感じると思います。

ただシニアにはそれがハードル高く、一度習ったくらいではまず身につけません。

繰り返し触って慣れることが大事だと、相談会でも講座でもアドバイスしています。

はたらくきかけづくり
プロジェクト (担当：井川)

今月は、シニアを実際に雇用している企業2社（カット野菜・盛り付け作業会社、印刷会社の工程管理）の担当者に話を伺いました。

カット野菜・盛り付け作業会社では、週に2～4日3時間ほどの勤務の方が多く、60歳から79歳のシニアが若い方と一緒に活動しておられ、長い方は20年以上働いておられます。勤務シフトもご本人のご希望ができるだけ叶うように、コアで活動する日、少し融通が聞く日、絶対ダメな日などをきめ細かくヒアリングし、直前で確認・微調整するなど、緩やかに働ける制度を推進しておられます。腰痛対策の作業イスの導入も喜ばれているようです。

印刷会社では、定年退職したベテランシニアたちに、繁忙期や人手の欲しい時期をお知らせし、エントリーしてもらえるアプリを導入。また、あえて新人とペアリングし、教育係的なことも担ってもらい、技の伝承にも一役買ってもらっているそうです。若い世代は、親世代より祖父母世代のシニアたちとの相性がよく、反発や軋轢も少ないそうです。

両社とも、シニアが働きやすい制度やアプリを導入し、シニアがベストパフォーマンスを出せるようきめ細かく工夫されているのが印象的でした。

大阪ガスさんの環境・地域共創部の方々と、廃小学校の跡地をシニアのベースにするためのさまざまな構想を話し合い、8月14日には、実際に廃小学校を活用している『いくのパーク』、放出栄町商店街、アクティブスクエアなどを見学しました。そして、ご担当が構想を推進するのに役立つ資料を揃えたり、シニアの就労サポートが自治体にいかに有益であるかをアピールしています。

廃小学校・屋上プールをバーベキュー場として活用している『いくのパーク』
(大阪市・生野区)



←廃小学校を交流スペースとして活用しているアクティブスクエア
(大東市)